

平成30年度 第34回都市公園等コンクールにて、 国土交通大臣賞・国土交通省都市局長賞を受賞しました！

都市公園等コンクールは、都市公園等の設計、施工、材料・工法・施設、管理運営において特に優秀な作品について表彰を行うものです。（主催：一般社団法人 日本公園緑地協会）

このたび「グランモール公園」と「横浜公園」が、それぞれ「国土交通大臣賞」、「国土交通省都市局長賞」を受賞しましたので、お知らせします。

- ・国土交通大臣賞：全応募作品の中で技術水準が高く、今後の都市公園の模範となる最も優れた作品
- ・国土交通省都市局長賞：各部門における特に優れた作品

○ 受賞結果

■ 国土交通大臣賞 設計部門

〔受賞作品〕 グランモール公園再整備

〔受賞団体〕 横浜市環境創造局、株式会社三菱地所設計

〔所在地〕 西区みなとみらい三丁目

〔整備年度〕 平成24～29年度

施設の老朽化への対応や周辺街区の発展、「横浜みどりアップ計画」における実感できる緑の創出、「環境未来都市・横浜」の「みなとみらい2050」プロジェクトの取組の1つとして再整備を実施しました。

「Rambling Park～歩行者軸を超え、憩いと賑わいのあふれる公園へ～」をコンセプトに、官民一体となった新たな公園像の実現による公園の魅力向上を図り、平成29年に開催された「第33回全国都市緑化よこはまフェア」のみなとガーデン会場の1つともなりました。

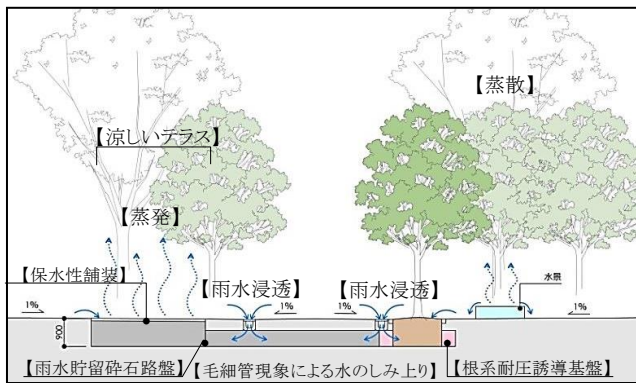
公園の持つ「約700mの全長にわたり様々な用途の建築敷地に接し、かつ開かれている」という特徴を生かし、基本構成として公園と隣接敷地の接点に中間領域を設定し、人々のそぞろ歩きを誘うデザインと、グリーンインフラを全面的に導入するなど、横浜、みなとみらい21地区を代表する公園として、デザイン性の高い設計が高く評価されました。



全国都市緑化よこはまフェア開催時の様子



眺めの広場



◆グリーンインフラの活用

テラスの憩い空間等の舗装下部に路盤機能と雨水貯留機能を持つ砕石層を設置し、植栽への水の供給・良好な生育促進、樹木や保水性舗装と連動した打ち水効果（蒸発散）により、夏の涼しさを実感できる仕組みを導入しました。

※グリーンインフラ：自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある都市づくりを進めるための社会資本

■国土交通省都市局長賞 材料・工法・施設部門

【受賞作品】横浜公園日本庭園「^{ひが}彼我庭園」

【受賞団体】横浜市環境創造局、一般社団法人横浜市造園協会、株式会社港南植木ガーデン

【所在地】中区横浜公園

【整備年度】平成 28～29 年度

庭園に市の歴史や文化を反映した門や雪見灯籠などの施設を整備するとともに、市と造園協会の共催により、竹垣の改修の技術交流会を公開で行いました。造園技術の継承、大勢の来園者に日本の伝統技法や造園技術を披露・周知を行った取組が評価されました。



ジェラール瓦と煉瓦を用いた庭園門



今回複製した彼我庭園の雪見灯籠

1954 年に当時の市長が友好と平和の証としてポートランドに寄贈した雪見灯籠を複製したものであり、よこはまフェアを記念し、彼我（外国人と日本人）の友好と平和が一層深まるよう、「灯籠の里帰り」の意を込めて設置をしました。



竹垣改修の技術交流会



平成 30 年 10 月 26 日（金）に開催された「ひろげよう 育てよう みどりの都市」全国大会において、表彰式が行われました。

お問合せ先

(都市公園等コンクール全般について)

環境創造局みどりアップ推進課長 相場 崇 Tel 045-671-2811

(各受賞作品について)

環境創造局公園緑地整備課長 荒原 伸治 Tel 045-671-2614